

大畧

おすすめモデルコース 龍潭寺からスタートし景色を楽しみながら片道40分コース

① 登城前に、三成公の銅像にごあいさつ！
龍潭寺さんの玄関の鐘は佐和山城の陣鐘であったといわれています。

③ かもう坂往還をそのまま下ると鳥居本、左へ上がると大洞弁財天、右に向かうと本丸に向かいます。

② 山門をくぐると枝垂れ桜の古木が。しばらく行くと墓地になります。ここから山道となりますが、この道こそ佐和山城下の東西を結ぶ往来でした。

⑥ 西斜面に豎堀をみることができます。斜面の移動を封鎖する役割を持っています。この付近の土塁に気がつけば、あなたも「山城」上級者！



★本丸からの西の眺望★
西の看板あたりからは、手のひらサイズの彦根城をみることができます。意外と小さく見えます。見逃さないようにしてくださいね～。

かもう坂通り往還 (龍潭寺越え)

④ 塩硝槽跡。いわゆる火薬庫ですが、謎の大穴があいています。

⑤ 竹林の中を歩きます。塩硝槽跡を含めた、この一帯は「西の丸」と呼ばれています。

⑦ 西の丸を抜けて本丸へと続く道はまたも急斜面、疲れてきている頃でもあるので、あらためて足元注意！
雑木林の間から琵琶湖がちらりちらりと見えます。ちょっと見渡してみる心の余裕を持って、最後のひと踏ん張りしてください！！

⑧ いよいよ本丸に到着!!!
ここまでおよそ30分。三成公が眺めたであろう風景をしばし楽しんでください。



★本丸からの南の眺望★
南からは、彦根の町が見下ろせます。水道タンクのある小高い山。あれこそが、佐和山城落城の様子を見ていた家康の本陣があったという平田山です。

⑨ 石垣の隅角などで用いる算木積みみされた二個の巨石があります。天守の石垣だとも言われています。「一丈五尺の石垣の上に五重の天守が築かれていた」と記されています。

算木積みの石垣

⑩ 千貫井とは「こんな山の中で水がわき出るなんて千貫に値する」という意味で三成公が名付けたと記されています。この周辺に石垣がありますが、地滑りのため近づいてはいけません!!!!!!

⑪ 女郎ヶ谷です。佐和山城探索は、ここで引き返すことになります。佐和山落城時に逃げ場を失った女たちが、ここから飛び降り、自害したと伝えられています。落ちると危ないので、身を乗り出さないようにしてくださいね～。

立体マップの作り方

① 表面の破線に従って横半分におり、三分割して折り目をつける。

② 図のように折り目で開いてつぶす！
両方とも同じようにする～。

③ 本丸を真ん中にして上空から佐和山城を眺めてみましょう！

ご注意!
佐和山城には、三成の兄・正澄が守っていた曲輪「二の丸」(井伊家の時代では木俣土佐が入ったので「土佐丸殿」)、嶋左近が守っていた曲輪「三の丸」(井伊家の時代では中野越後が入ったので「越後殿丸」)、佐和山城攻めの時に小早川隊が攻め入った「太鼓丸」、浅井家の時代に法華宗の祈禱所があったので「法華丸」と呼ばれていた曲輪があります。ただし、これらの曲輪へのルートは整備されていません。私有地でもありますので、**立ち入りが禁じられています**。
登ることに一生懸命で見失ってしまったものがあるかもしれません。下りも楽しんでくださいね～。



★本丸からの北の眺望★
北には白いタワー、その向こうに悠然と構えているのが伊吹山。伊吹山の向こうが決戦の地、関ヶ原です。